

プロジェクションマッピング
×
パイプオルガン

新 超絶の

オペラ座の怪人

The Phantom of the Opera



オペラ座の怪人
レ・ミゼラブル / キャッツ
美女と野獣 / マンマ・ミーア!
ライオン・キング / コーラスライン
サウンド・オブ・ミュージック

[オルガン] **大木麻理**

今年の夏も
パイプオルガンが
熱すぎる!!

2025

8/23

※休憩なし。約60分間のコンサートです。

(土) 14:00開演 [13:00開場]

3,300 円 (全席指定・税込)

ザ・シンフォニーホール

ご予約・お問合せ

プレイガイド

- ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonycall.jp>
- E+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonycall> (パソコン・携帯)
- チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonycall> [Pコード: 286-690]
- ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonycall> [Lコード: 56699]

主催: ザ・シンフォニーホール

※4歳以上のお子様からご入場いただけます。※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。※公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承下さい。

スイスの名門「クーン社」製パイプオルガンの荘厳な響きと、煌びやかなプロジェクションマッピングで、これまで多くの聴衆を魅了してきた、ザ・シンフォニーホールの人気シリーズ「新超絶のオペラ座の怪人」。今回は新旧、人気のミュージカルを8曲取り上げる。ミュージカルでオルガンというと、まず思い付くのが「オペラ座の怪人」ではないか。タイトルナンバーは、まさにオルガン独奏から始まるが、本物のオルガンでこの曲を聴くチャンス到来だ。また、このコンサートにはオルガンの他に、パーカッション奏者が何名か出演するのだが、毎回趣向を凝らした演奏がオルガンの響きを一層華やかなものになっている。ぜひ彼等にも注目していただきたい。オルガニストは大木麻理。多彩なレジストレーションで、客席を驚かせるに違いない。

文：東端哲也

オペラ座の怪人

フランスの作家ガストン・ルルーの小説「オペラ座の怪人」をベースにしたミュージカル。アンドリュウ・ロイド・ウェバーが音楽を、ハロルドプリンスが演出を担当し、ブロードウェイ史上最長のロングラン公演作品として知られている。日本でも1988年の日本初演以来、有名なパイプオルガンの旋律と共に大ヒットし、総観客動員数790万人、通算上演回数は8000回を超える。1986年の世界初演時に、主役のクリスティーン・ダーエを演じたサラ・ブライトマンは、この役をきっかけに世界の歌姫の座へと駆け上がった。

レ・ミゼラブル

ヴィクトル・ユゴーによって1862年に出版されたフランスの歴史小説は、日本では「ああ無常」として人気があり、ドラマや映画、演劇やミュージカルなど多方面に取り上げられている。現在上演中のミュージカル「レ・ミゼラブル」は、1885年にロンドンで初演され、1987年からは日本でも上演されるようになった。帝国劇場でのロングラン公演は2025年2月で幕を閉じたが、3月の大阪を皮切りに全国を巡業中である。作曲はクロード＝ミシェル・シェーンベルク。「夢やふれて」、「民衆の歌」、「ワン・デイ・モア」、「オン・マイ・タウン」など名曲揃いのだ。

キャッツ

T・S・エリオットによる詩集「キャッツ・ボッサムおじさんの猫と付き合う法」をベースに、アンドリュウ・ロイド・ウェバーが作曲を手掛けたミュージカル作品。個性的な猫が都会のごみ捨て場を舞台に踊りと歌を繰り広げる。どの曲も素晴らしいが、娯楽猫グリザベラが歌う「メモリー」にはうっとり。日本では、1983年に劇団四季によって東京で初演。大阪では1985年3月から1986年4月まで、西梅田コンテナヤード跡地のキャッツ・シアター（現オサカガーデンシティ）で歴史的なロングラン公演となった。

美女と野獣

ディズニーが、演劇ビジネスに初進出した記念碑的な作品。作曲は「アラジン」、「リトル・マーメイド」、「ボカホンタス」、「ヘラクレス」などディズニー・レジェンドのアラン・メンケン。アカデミー作曲賞、アカデミー歌曲賞を各4回、グラミー賞は11回受賞している。「美女と野獣」は1994年にブロードウェイで初演されて以来、世界中で大ヒットを記録。日本では劇団四季により、1995年に「東京・大阪同時ロングラン」という前代未聞の上演方式で初演した。

マンマ・ミーア!

世界的に有名なスウェーデン出身のポップ音楽グループABBAのヒット曲で綴られた、ジュークボックス・ミュージカルの代表作。結婚式前夜の母と娘の絆を描いた心温まる物語だ。「マンマ・ミーア!」は「マネー、マネー、マネー」や「チキチータ」、「ダンシング・クイーン」などと並ぶABBAの代表曲。直訳するとイタリア語で「私のお母さん」という意味だが、使い方としては「なんてことだ!」など、驚いた場合に使用する。英語の「Oh my God!」に当たる。日本では2002年より劇団四季が上演。

ライオン・キング

太陽煌めくアフリカの大地を舞台に、「サークル・オブ・ライフ（生命の循環）」をテーマとして繰り広げられる壮大なミュージカル。ライオンの王子シンバが、父親の仇である叔父を倒して王国に平和を取り戻すストーリー。1994年6月に全米で公開された、ディズニーによる32番目のアニメーション作品。ミュージカル版は1997年、ニューヨーク・ブロードウェイで開幕。空前のブームを巻き起こし、翌年にはトニー賞の最優秀ミュージカル賞をはじめ、計6部門を受賞。音楽は、ポップス界の巨匠エルトン・ジョンが作曲を担当し、ミュージカル界の重鎮ティム・ライスが作詞を担当。日本では1998年12月、東京公演から始まった。

コーラスライン

1975年7月に初演されたブロードウェイ・ミュージカル。マイケル・ベネットの原案・振付・演出、マーヴィン・ハムリッシュの音楽による。舞台はブロードウェイの劇場で、「コーラスライン」のオーディションに参加するダンサーたちを描く。コーラスラインとは、稽古時に舞台上に描く「線」のことで、メインキャストと無名のコーラス担当を隔てる象徴ともなっている。日本では劇団四季が1979年9月に初演し、以来断続的に上演される同劇団の歴史的に重要なレパートリーの1つである。2009年と2011年に来日公演も行われた。

サウンド・オブ・ミュージック

1965年に公開されたロバート・ワイズ監督、ジュリー・アンドリュース主演のミュージカル映画として有名だが、実は1959年にミュージカルとして製作されたものが大ヒットし、映画化されたのだ。作曲をリチャード・ロジャース、作詞をオスカー・ハマースタイン二世という名コンビによる最後の作品でもある。「私のお気に入り」、「ドレミの歌」、「エーデルワイス」、「すべての山に登れ」など名曲の宝庫で、実在したトラップファミリー合唱団の逸話を基にした心温まる物語だ。日本では1965年に東宝ミュージカルで初演され、1988年からは宝塚歌劇団、2010年からは劇団四季でも上演している。



「オルガン」大木麻理 Mari Ohki, Organ

東京藝術大学卒業、同大学院修了。DAAD、ボセール財団の奨学金を得てドイツ・リューベック国立音楽大学、デトモルト国立音楽大学に留学し、満場一致の最優等で国家演奏家資格を得て卒業。第3回ブクステフーデ国際オルガンコンクールでは日本人初の優勝。マインツ国際オルガンコンクール第2位、第65回「ブラハの春」国際音楽コンクールオルガン部門第3位、併せてチェコ音楽財団特別賞受賞。CDでは「エリシネルング」、ポジティブ・オルガンに新たな可能性を吹き込む「51鍵のラビリンス」をリリース、いずれもレコード芸術特選盤など高い評価を得る。NHK「リサイタル・ノヴァ」をはじめラジオやTV出演などオルガン音楽の普及に努めている。(一社)日本オルガニスト協会会員。東洋英和女学院大学非常勤講師、東京音楽大学非常勤講師(2025年4月より) ミューザ川崎シンフォニーホールオルガニスト。

KASUMI HAMANO

オルガン名曲決定版 2025

5.17(土)14:00開演
2025 全席指定 2,750 円(税込)
※休憩なし。約60分間のコンサートです。

オルガン 演野芳純

オールバッハ名曲選!!

真夏のオルガンコンサート 2025

オルガン:ファニー・クソー
(第25代札幌コンサートホール Kitara 専属オルガニスト)

8/2(土)14:00開演
2025 全席指定 2,750 円(税込)
※休憩なし。約60分間のコンサートです。

©Hiroharu Takeda